

ごあいさつ

GREETING



TOMAS CUP 横浜大会
大会会長

小川 直樹

本年も、株式会社リソー教育様のご厚意によりTOMAS CUP 横浜大会を開催させて頂く事となりました。

また、出場チームの保護者様、指導者様、関係各位皆様の温かいご支援とご協力により、今大会で7回目を迎える事ができ、大変喜ばしく思います。

2020年に開催される東京オリンピックに向けて、日本国内におけるあらゆるスポーツも日々活発に変化をしており、世界の舞台で活躍する日本人アスリートがたくさん誕生しております。私たちが携わるバスケットボール競技もトップリーグが大きな変化を遂げました。

私たち大会実行委員会は、子供たちの成長における地域サポートとしてバスケットボール競技を通じて、集団行動の大切さ、仲間の大切さ、協力をしてくれる方々への感謝の気持ちを伝えられたらと思っております。そして、仲間とひとつの目標に向かい、共に日々努力する心の強さを身につけてもらいたいと願っております。

この大会は、様々な人たちによって支えられて開催されております。選手みなさんは、大好きなバスケットボールをみんなと楽しめる環境がある事に感謝し、成功や失敗にとらわれず、共に練習を重ねてきた仲間と全力で競技に取り組んでください。

結びになりますが、特別協賛の株式会社リソー教育様、各チーム保護者様、指導者様、大会関係各位皆様、多くの皆様のご理解、ご協力の中、この素晴らしい大会が開催できる事に深く感謝の意を申しあげさせていただくとともに、選手みなさんの健闘を心より祈念し、開催のあいさつといたします。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、横浜のミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で7回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後ともいえるこの大会を、こうした形で応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、バスケットの技術の上達や体力の向上だけでなく、ライバルとの競い合い、フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・勝利の喜び・負けたときの悔しさ・思いやり・友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強ももちろん大切ですが、おけいこ事・習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援を始めとする社会貢献活動に取り組んでいきます。

日本のバスケットボール界から2人目のNBA選手が誕生したと聞きました。バスケットボールにおいても、世界で活躍するということがもう夢物語ではなくなっているようですね。今日の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さんのチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。